

安全運転を呼びかける子どもたち



運転手さん 安全運転で

4月7日、佐志小学校の子どもたちが、佐志交差点で交通安全運動を行いました。

子どもたちは、自分たちで書いた交通安全を呼びかける手紙と池田信義さん、池田クニさん（共に81歳）ご夫妻手作りの、交通安全と書かれたひょうたんを手に「安全運転お願いします」と運転手に声をかけていました。

池田信義さんは、「元気があるうちはひょうたんづくりを続けて、少しでも交通安全活動にお役に立てば」と話されました。

勝利のVサインで敬礼 交通安全少年団 結団式

4月13日、宮之城交通安全少年団（盈進小5・6年生20人で構成）の結団式が、盈進小学校校長室で行われました。

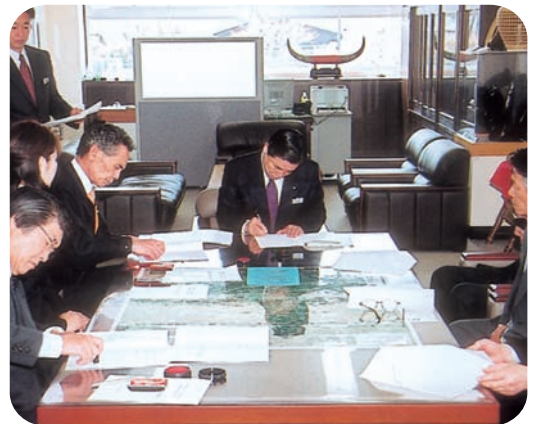
結団式では、松井与喜雄団長（6年生）が、宮之城地区交通安全協会（白石九洲男会長）から腕章・バッジなどを受け取り、団員全員で交通安全少年団三つの誓いを述べ、交通戦争に対する勝利のVサインで敬礼をしました。

交通安全少年団は、毎月20日、「交通安全の日」を主体に、街頭立哨や交通安全行事に参加し、交通安全を呼びかけます。



敬礼をする団員たち

協定を結ぶ指定管理者



指定管理者 協定書調印式

4月3日、公募により選定された指定管理者と協定書調印式が行われました。

今回、公募した施設は、さつま町観音滝公園・観音滝公園交流センターとさつま町健康ふれあいセンター・健康ふれあい公園で、町内外からそれぞれ4団体の応募があり、十分な審議を重ね、さつま町観音滝公園などは株式会社ビルメン鹿児島グループ（鹿児島市）、さつま町健康ふれあいセンターなどは明廣建設株式会社（さつま町）が選定され、協定が結ばれました。

北原公民館新築で 太鼓踊り復活

4月2日、北原公民館落成式が行われました。

老朽化が進み維持費にも経費がかさむようになったため、木造瓦葺平屋建ての51・62㎡が新築されました。

落成を記念した北原太鼓踊りも8年ぶりに復活し、若い若きも勇壮な踊りを目の前にして盛んな拍手が送られていました。

参加者の間では「せっかく復活した伝統芸能であるので、これが続けられるようにしてほしい」との声も聞かれました。

北原公民会員の方は、「冠婚葬祭やむらづくりのための話し合いなどに積極的に利用していきたい」と話されました。



勇壮な太鼓踊りを披露